

「ステインド グラス」

中村ケンシ

〈登場人物〉

- ・深山浩一郎（小学部四年生担任）
- ・近藤勉（小学部理科専科）
- ・吉井まどか（小学部六年生担任）
- ・坂口雄一（小学部三年生担任）
- ・戸倉良子（教頭）
- ・中野徹（事務員）
- ・田代星来（小学部六年副担任）
- ・稲垣由梨（教材販売員）
- ・杉原睦夫（保護者）
- ・斉藤詩織（建設会社社員）
- ・女（斉藤詩織と同じ俳優が演じる）
- ・少年

一、午前十時

とある支援学校の職員研修室。

「職員研修室」とはつまり「職員休憩室」のことである。普段、教員は休憩時間はこの部屋を使ってよいことになっているが、実際、教員に休憩時間はない。普段、ここに人がいるのは稀である。この部屋の形状は二つの空間に分けられている。部屋の半分は一段上がっており、殺風景な和室。中央に卓袱台。部屋の端に座布団が積み上げられている。部屋のもう半分は土間。会議用のテーブル、パイプ椅子、数脚。事務機があり、机上には書類、パソコン、電話など。部屋の片隅に掃除用具などが無造作に立てかけてある。和室へは上靴を脱いで上がることになっている。

さて、今、この学校の教員である深山が事務機の椅子に座って受話器を握っている。和室には白衣姿の近藤がぼんやりと座っている。奥に事務員の中野、黙々とパソコンに向っている。

深山 休校です。はい。え？振り替え授業ですか？それは冬休みに、ええ、明日にはご連絡できると思います。オウスケ君は大丈夫ですか？ええ、ええ、はい、そうですか．．．はい。はい。

相手方が電話を切ったようだ。深山、受話器を置き、手帳にチェックを入れる。

近藤 あと何人

深山 二人です

近藤 のんびりいこうよ。することないんだからさ

深山 あとから困りますから

近藤 どういうこと？

深山 学校側からちゃんと連絡したという証拠を作っておかないと

近藤 何それ

深山 あと少しですからやってしまいますわ

近藤 もう揺れないと思うよ

深山 それはそうかもしれませんがね

近藤 下、何人？職員室

深山 四割くらいすね

近藤 みんな休んだらいいんだよ。こんなときくらいしかのんびりできないからね

深山 さっき、校内放送あったじゃないですか、教頭の

近藤 校内放送？

深山 「全職員は運動場に避難してください」って

近藤 あったか、そんなの

深山 放送、入ってます？（立ち上がり、壁に取り付けられているスピーカーを見上げる）

近藤 入る、入るからホントに

深山 ぼんやりスピーカーを見上げるんですよ、みんな。で、放送が終わったらすね。

近藤 どうなっただと思います？そのまま仕事に戻るんですよ、何も聴かなかったような顔で

近藤 あら

深山 地震で休校って初めてですか？

近藤 いやどうかな

深山 ニンゲン不思議ですわ。根拠もなく信じてしまうんですね。「最悪な事は起こらない」って。起こらないって信じようとしてるだけなんですけどね

近藤 ニンゲンの防衛本能だね

深山 ダメでしょ。「避難しろ」って言うてんのに、それ無視して仕事続けて、もし本震

並みの揺れがきて大惨事になったら、それこそ責任問題でしょう

近藤 自業自得でしょう

深山 私、言いましたよ。「いったん手をとめて避難しましょう」って。みんなきよとん

としてそれからワラワラと運動場へ。結局、余震はなかったんですけど。（電話のプツ

シノボタンを押しながら）30分くらいで避難解除されました。みんな、仕事を持ってい

くんですわ。で、運動場でも仕事してて。仕事って計算ドリルの丸つけですよ

近藤 それこそ校舎が崩れでもしたら、深山先生のお手柄だったね

深山 お手柄ってなんですか？（電話が繋がった）あ、山里さんのお宅で・私、緑ヶ丘

支援学校の担任の・はい、え？何をさせればいい？家で？もたない？昼から？昼から

ですね・ランドセルに、ひらがなの練習プリントがあったと思うんですが、はい、カ

イセイ君、怯えてませんか？はい、では・

近藤 あと一人

深山、受話器を置く。

深山 わかると思うんですけどね

近藤 え？

深山 地震なんですから

近藤 中野ちゃんはどこにいたの？揺れたとき

中野 事務室です

近藤 相変わらず朝早いね

中野 仕事がたまってますから

近藤 深山先生に聞いてよ。どこで地震にあったのか

深山 もういいですから

中野 どこなんですか

近藤 ネットカフェ

深山 言うんですね

近藤 ほら、駅前の

中野 駅前にありましたっけ？

近藤 危ないよね、噂によるとせまいんだってね。火災だったらアウトだね。数年前、何人か亡くなったでしょ

中野 早朝から何してたんですか？

深山 え？

近藤 僕もそれ、聞いてなかった

深山 教材研究です

近藤 教材研究！

深山 時間ないですから。昨日も8時から学年会です。勤務時間は何時までなんですか

中野 先生方が職員室で教材研究をしているところを見たことないですね

近藤 別の仕事があるのよ。山ほど

中野 それでネカフェですか

深山 集中できますから

近藤 何してたの？教科は

深山 国語です。リライト文を作成しました

中野 リライト文ですか？

深山 補助教材の絵本なんですけど

中野 補助の教材？

深山 学年対応の教科書ができないんで。でも絵本の文章をそのまま学習するのも無理なんですよ。難しい言葉を生活言語レベルに下げてですね

中野 生活言語ってなんですか？

深山 つまり「親友」ってコトバは「おともだち」になります。子供が日常生活で頻繁に使う実感の伴ったコトバに変換するんです

近藤 へえー

深山 今、この教材、使ってるんですけど

深山、近藤に絵本を渡す。

近藤 「モチモチの木」

深山 斎藤隆介。児童文学の天才です

近藤 あーこの切り絵ね、見たことあるわ

深山 「豆太の足にしもがかみついた」って文があるんですね。豆太は物語の主人公の子供です。じさまと猟師小屋で二人暮らしなんですね

中野 じさま？

深山 おじいちゃんです。豆太はそう呼んでるんです。で、豆太は臆病なんですね。夜、一人で便所に行けない。ある冬の晩、じさまが突然、腹痛に苦しむんです。豆太は山のふもとの医者を呼びに飛び出していくわけです。裸足で。外は真っ暗。極寒です

近藤 おお

深山 子供ら、理解できないんですよ。だから「しもがかみついた」を「霜柱が刺さった」と。簡単に、わかりやすく

近藤 迫力ないわ。やっぱり霜柱は本当に噛みついたんだって

深山 霜柱は生き物だって勘違いする子もいますから

中野 「霜柱」って今の子供は知ってるんですかね

深山 アイパッドで実物の写真を見せます

近藤 霜柱は本当に生きてたんだよ。それで豆太に襲いかかった。豆太の主観なんだからさ

中野 「親友」と「おともだち」は微妙に違いますか？

深山 近い意味のコトバに言い換えるんですよ

中野 児童文学の天才のコトバを書き直すわけですか

近藤 中野ちゃん、せめないで。教師は忙しいから。どんどんこなしていかないと。考える暇なんてないんだから

中野 近藤先生は暇ですよ

近藤 なんてことを

中野 そう見えますけど

近藤 それ主観、主観だから、中野ちゃん主観

深山 理科室、大丈夫やったんですか？

近藤 メダカの稚魚は無事

深山 メダカに限らず

中野 教科書を使ってる子がいますよ

深山 え？

中野 僕、前は普通高校勤務でしたから

深山 色んな子がいます。医療の発達で障碍の種類も増えました。本来は地域の小学校に行くはずも通ってますから

中野 なんてなんすか

近藤 子供にもいろいろあるんだって

中野、沈黙する。話をかえて。

中野 あの金具、なんて言いましたっけ

近藤 金具？

中野 深山先生の注文ですか

深山 え？ああ。ステイックファスナーです

中野 そんな名前なんですか

近藤 事務用品の名前なんてどうでもいいよ

中野 どうでもよくないですよ。注文するのはこっちなんですから

ドアが開く。田代である。

田代 休憩します

近藤 おっ

深山 教室、片付いた？

田代、和室へ。靴を脱ぐ。

田代 たいしたことなかったです。本立てが倒れて絵本が散乱してたぐらいで

深山 靴、変えたん？

田代 え？

深山 新品

田代 こっちの方がいざという時、動けますから

近藤 紅茶飲む？

田代 紅茶ですか？

近藤 いい茶葉が入りましてね、アールグレイ。ネット通販だけど

田代 飲みます

近藤 穏やかな気分とリラックス効果をプレゼントしてくれるらしいよ

田代 それサイコーやないですか

近藤 深山先生は？

深山 いただきます

近藤は土間に下りて、お茶の用意。

(*1)

田代 (深山に)終わりました？

深山 あと一人

田代 吉井先生と連絡とれなくて。

深山 来てないの。LINEしたんですけど既読にならなくて

田代 わかりません

深山 来るでしょ、さすがに。吉井先生やったら

(*1と同時に)

近藤 中野ちゃんは？

中野 降ります

近藤 事務室？

中野 教材の注文を

近藤 こんな日くらい

中野 ありがたい日ですよ、余裕ができて

近藤 不謹慎よ、その言い方

近藤はお茶を入れている。

田代 ここやっただすね

深山 職員室、電話、ふさがってたから

田代 確かに

深山 出勤、早かったよね

田代 することなくなりました

深山 あるよ

田代 えっとですね

近藤 何何

田代 えーっと

近藤 何

田代 大丈夫かな、このメンバーで

近藤 え？

田代 深山先生は「正義感ありますー」ってアピってるところあるし、近藤先生はそもそも

影響力ないし。あとは・中野さんか・

近藤 心の声が漏れてます

田代 え？やっぱ、疲れてるか、そうか

近藤 休みなさいって

田代 あのですね、悪口やないですからね

田代、中野を見る。

中野 なんですか？
近藤 いいから。行って、行って

中野、ファイルを抱えて、部屋から出ていく。
近藤、紅茶をテーブルに。三人、和室のテーブルを囲む。

田代　なんで中野さん、職員休憩室で仕事してはるんですか？変ですよ

沈黙。

田代　なんかあったんですか？事務室から追い出されるようなこと

沈黙。

田代　スルーですか

田代、紅茶を飲む。三人、一息。

田代　吉井先生

近藤　はいはい

田代　昨日、裁判やっただんですよ。初公判。（紅茶を匂って）いい匂い

近藤　京都の紅茶専門店

田代　そうなんですか。へえー

深山　裁判？

田代　去年の事故の

近藤　はいはい

田代　吉井先生、証人喚問に呼ばれてたんです

近藤　そうなの？

田代　当事者やないですか？吉井先生、事故の。実際、ご本人も大怪我されてるわけですから

深山　それで？

田代　断ったそうです

深山　断った？

田代　どう思います？

深山　何が？

田代　おかしいですよ

近藤　思い出したくないんだって

田代　私たちは教師ですよ

深山　何？

田代　寄り添わんとダメやないんですか

深山　誰に？

田代　えーっと

深山　もうアキトはおらんし

田代　葬儀の時のご両親の様子。「慟哭」っていうのを、私は生まれて初めて見ました

近藤　「慟哭」ですか

田代　ご焼香のときに急に暴れて叫んで泣き崩れて

近藤 当たり前でしよう
深山 線引きが難しいから
田代 線引きってなんですか？
深山 杉原君の籍はもう学校にはないんやから
田代 だからなんですか？
深山 ご両親に寄り添うんは学校業務やないわ
田代 めちゃくちゃ冷たいですね
深山 何？
田代 深山先生の中ではもうないことになってるとか

田代、紅茶を飲み干す。

近藤 忘れてないよ。みんな、悲しかった。でもねえ、次に行かないことには
田代 次ってなんですか？どこですか？どこに行くんですか
近藤 日常を取り戻さないと。日常は進んでいくんだからさ
田代 近藤先生も冷たい人間チームですか
近藤 チームって何？
田代 冷血人間会議ですか？これ
近藤 強烈だったじゃない。教え子をだよ。それも急に。僕も関わった子供だったし。それはみんなそうだから
田代 近藤先生、根拠のない共感は不信感が増すだけですから
深山 残された子供たちのことを考えんとあかんやろ
田代 それは当たり前ですから
深山 僕らはいんだよ。どの子も感じてるから、きっと
田代 何をですか？
深山 喪失感・恐怖・
田代 教師の好きな分析ごっこですか
近藤 田代先生
田代 私が言いたいのはですね
近藤 何？
田代 私ら、頑張って、日常を取り戻したやないですか。事故の次の日から、普通に授業して、普通に給食食べて、食べさせて、笑顔で挨拶して。忘れたように。忘れるように、笑って、笑わせて、無理やり
近藤 だからこそよ。混乱はなかったんだからさ
田代 それで忘れたんですよ、考えることができなくなってしまったんですよ、いいんですか？それで。アキト君、忘れられたんですかね
深山 覚えてるよ
田代 なんですか？
深山
田代 言いたいこと言うてくださいよ

近藤 時間がかかるんだって

田代 私も冷たい人間ってことを認めましようよ。こんなんで「教育」ができるんですかね。吉井先生も同じですよ。私、吉井先生をリスペクトしてたんです。吉井先生、2か月で復帰したやないですか。すごいでしょ。すごいんですよ。松葉杖つきながら子供追いかけて。すごいなあと思うんですよ。あの先生、下半身が重機の下敷きになりながら、「私はいいから先に子供を助けて」って叫んだんでしょ？言えますか？そんなこと

近藤 なかなか言えないよね

田代 でもね、だからね、だからですよ。がっかりです。がっかりなんですよ。田中先生いるやないですか。「緒に事故におうたでしょ？あれからずっと休んでますよね？田中先生のけがは吉井先生よりも軽かったんですけれど、毎月、毎月かかさず、月命日に行ってるらしいですよ、杉原君のお家に。田中先生、心がしんどい病気やのに

深山 そうなんや

田代 私、杉原君のお家に先月行ってきたんです。やっつです。私もだめなんですけれど。遅すぎるんですけど。で、聞いたんです。吉井先生は一回も来たことないって。それでですね、大事なことやと思うんです、裁判。その裁判での証言を断わるって。考えられませんか

近藤 思い出したくないんだって

田代 知ってますよ

近藤 いっぱいいっぱいなんだって、吉井先生も

田代 運転手や会社の過失を問う大事な裁判ですよ

深山 居眠り運転やったかどうか

田代 運転手は否認してます

近藤 工事の会社があやしい

深山 どういうことですか？

近藤 ブラックだよ。あそこの道路工事、ずっとやってるじゃない。予算消化工事だって田代 じゃあ桜田市が悪いんですか？

近藤 市の発注でしょ？近くに支援学校があるのに

田代 どうでもいいんですよ。どうでもいいことないけど

深山 何？

田代 冷たい人間ですよ。私ら

近藤 えーっと

深山 どうしようもない

田代 なんですか？

深山 どうもできひん

田代 そうなんですか

深山 僕らは現場があるから

田代 深山先生

深山 何？

田代 先生辞めたらどうですか？

深山 なんて？

近藤 あのね

田代 なんですか？

近藤 しんどかったんちゃうか、吉井先生。元気そうに見えても

田代 自分のことより人のことを優先できるのが教師の才能やないんですか

深山 そんな人間は一人もおれへん

田代 だって、今日、来てるやないですか

深山 何？

田代 朝、地震があった。けっこう揺れた。まだ余震続くかもしれないのに、私ら学校に来てるやないですか。家族や大事な人、ほっぽり出して、学校に集合せなあかんのですよ。することないのに。電車、止まっても、歩いて、何時間も歩いて。車で来るんやったら、それはそれで大渋滞引き起こして。決まりですよ？そういうことですよ？なんですかね？日頃、税金で食べさせてもらってるからですか？

深山 論点がずれてる

田代 熟語で言わんといってください

深山 本末転倒してるから

田代 四字熟語で言わんといってください

深山 あんな

近藤 (大声で) あのねえ

田代 (近藤に) なんですか？

近藤 わからへんから

田代 え？

近藤 誰もわかれへんから。なんにも。誰のことも

三人、沈黙する。田代、立ち上がり、ドアの方へ。

田代 帰ります

深山 え？

田代 ミントとレモンが怖がってたから

深山 ミントとレモン？

田代 うちの猫たちです。家出るとき、ニャアニアアって異常に鳴いてたから

ドアが開く。教頭の戸倉が顔を出した。

戸倉 吉井先生、見ませんでした？

近藤 おはようございます

戸倉 おはようございます

深山 おはようございます

田代 私も探してるんです

戸倉 え？

田代 吉井先生ですよ

戸倉 職員室にも教室にも行ったんだけど
田代 いないですよね
深山 まだ来てないんじゃないですかね？
戸倉 出勤スリットはしてたみたいやから
田代 そうなんですか
戸倉 あ、田代先生
田代 はい
戸倉 昨日はご苦勞様でした
田代 なにもしてませんけど
戸倉 私も教頭会がなかったら行こうと思ってただけど
田代 はい
戸倉 ご両親と話されました？
田代 いえ、傍聴席出て、そのまま帰りました
戸倉 そうですか
深山 なんかあったんですか
戸倉 さっき、杉原さんから電話があって
田代 お母さんですか？
戸倉 お父さん。なんかね、今日、学校に来たいって
田代 え？
戸倉 夫婦で吉井先生に会いたいそうです
田代 そうなんですか
戸倉 吉井先生を見かけたら、教務室に連絡をください
田代 はい

戸倉、部屋を見回す。

戸倉 休憩ですか。いいですね
近藤 えーっと、ごめんなさい
戸倉 休憩時間は12時半から1時15分って決まっています
近藤 今日は、非常時の特別体制でということ待機しています、はい
戸倉 「職員研修室」ですからね、ここは、一応ですけど
近藤 はあ、それはもう、はい
戸倉 ここに泊まりなんです。今晚
深山 そうなんですか
戸倉 管理職は明日まで待機です。教育委員会からの指示です
深山 今日、校長は？
戸倉 管外出張です。今週は滋賀で近畿地区の支援学校の研修がありまして
深山 はあ
戸倉 働き方改革の研修を受けるために、またより忙しくなるってどういう理屈なんですか
ようか

深山 え？

戸倉 あかん、愚痴やわ

近藤 お茶、どうですか？

田代 畑、見てきます

戸倉 畑？

田代 学級園です。吉井先生、ジャガイモの出来を気にしてはるから、毎朝

田代、去る。

戸倉 去年の今頃ですか

深山 え？

戸倉 事故の説明会があったでしょ？体育館で。会社の人らが来て

深山 はい

戸倉 深山先生おった？あのとき

深山 ちょうど空き時間で。校長から記録を頼まれて

戸倉 分厚い資料が配られて。パワーポイント。流れるようなわかりやすい説明、今後の

対策の提示まで。スキが見当たらなかった

深山 はい

戸倉 お父さん、激高してました。会社の人ら、頭下げてました、床につくぐらい

深山 そうでしたね

戸倉 最後は警備員の泣きながらの状況説明で。それで許されたらあかんのやけど

深山 そうですね

戸倉 説明会が終わった後も校長室で夜遅くまで続けました。お父さん、怒鳴って、お母

さん、泣いて、会社の人はずっと謝ってて、その繰り返しでした。白い・蛍光灯

深山 蛍光灯？

戸倉 校長室の灯りです。そのときの

深山 はい

戸倉 あれはなんやったんやろうって

深山 え？

戸倉 あれから1年経ちますけど

深山 はあ

戸倉 全てが予定調和でした。あの日の全てがです。警備員の涙も他の保護者の糾弾する

怒りもホンマやっただと思う。でもね、何？何が残った？私ね、会社側に、謝罪のプロミ

たいな人がいたような気がしてる

近藤 謝罪のプロですか？

戸倉 そんな仕事があるんやと思う。だから、みんなの気持ちがあんたなく整理されて、

なんとなくケリがついて、でもね・・・

近藤（突然、大声で）工事を依頼した側の責任もありますよね。行政レベルの話です、は

い

戸倉

近藤 警備員さんの個人的な責任じゃないですよね。そもそもですよ。どうして5年も10年も工事が終わらなかったんですかね。全然、完成しなかったですよね。で、事故の後、あっという間に工事は終わりました。それから歩道橋もつけない。ガードレールも申し訳程度

戸倉 近藤先生

近藤 はい

戸倉 理科室の被害状況を教えてください

近藤 (メモを取り出して)三角フラスコ2、ビーカー6、アルコールランプ4、破損

戸倉 今年はなんとかしてくださいね

近藤 は？

戸倉 追加の予算はないから

深山 校内放送はしないんですか？

戸倉 え？

深山 吉井先生が校内にいてるんやったら

戸倉 忘れてました

近藤 どうぞ。アールグレイです

近藤は、戸倉にお茶を勧める。

戸倉 卒業式、杉原さんが来られるみたいですよ

深山 え？

戸倉、お茶を飲む。

戸倉 おいしい

深山 えーっと

戸倉 杉原君、本当は今年度、卒業でしたよね？

深山 そうです

戸倉 あの後、ご夫婦が教室の遺品を取りに来はったとき、お父さんから「一緒に卒業式に参列させてほしい」って懇願されました。大きな遺影を持ってくるって

深山 そうなんですか

戸倉 ええ

深山 ええやないですか

戸倉 どうして？

深山 私もアキト君を卒業させてやりたいです

戸倉 気持ちはわかります

深山 卒業証書も、特別にあげていいと思います

戸倉 ええ

深山 私らができることってそんなことくらいしか

戸倉 簡単にはいきませんよ

深山 なんですか？

戸倉 深山先生

深山 はい

戸倉 想像してください

深山 え？

戸倉 卒業式の会場に大きな遺影があったらどう？目立ちますね。他の子はどう思うの？

また悲しいことを思いださせるの？乗り越えた子もいるでしょう。他の子の親御さんは
どんな気持ち？これから未来へ羽ばたいていく晴れの舞台ですよ

深山 だからこそです

戸倉 卒業式は今の子供たちが主役です

深山 お父さんの願いは？アキト君の気持ちはどうなんでしょうね

戸倉 杉原アキト君と

深山 はい

戸倉 残された子供たち、両方が納得する卒業式のやり方を考えたいと思っています

深山 そんなことが可能なんですか？

近藤 あの

戸倉 はい

近藤 子供に聞けばいいと思うんですけど

戸倉 子供？

近藤 あのクラスとても仲が良かったから、ですね

戸倉 はい

深山 子供に責任を持たせるんですか？無理ですよ。かわいそうやないですかね

近藤 いやいや

深山 それに．．．そんな判断力ありませんから

近藤 卒業式は子供たちのものだろう

深山 え？

近藤 (戸倉に) 「子供をなめてもらっちゃ困る」というお話なんですけど

戸倉、お茶を飲み干す。

戸倉 ごちそうさま

近藤 また、いつでも

戸倉 卒業式の件、参考にします

近藤 え？

戸倉、去る。しばらくして。

深山 冷血人間会議

近藤 何？

深山 そんなコトバはありませんから

近藤 そうねえ
深山 母語でしか新しいコトバは作れないらしいですよ
近藤 母語？
深山 その人が持っている言語体系です
近藤 英語とか？フランス語とか？
深山 母語が違うと見えてるセカイが違うんです
近藤 同じでしょう。セカイはひとつ
深山 虹が七色（なないろ）に見えるのは日本人だけです
近藤 そうなの
深山 アメリカ人は六色、アフリカの人は四色です
近藤 損だね。英語の人は一色少ない
深山 コトバは概念ですから獲得する言語体系によって見える風景が違ってくるんですね
近藤 さすが国語科専門
深山 英語で新しいコトバを作ることができますか？
近藤 そもそも単語が出てこない
深山 僕らは日本語で新しいコトバを作ることができます

深山、電話のところへ。電話をかけようとするがやめる。

近藤 どうした？
深山 イノウエ君
近藤 イノウエソウジロー君
深山 いつもつながらないんですよ。お母さんが学校に否定的で
近藤 だから後回し
深山 いえ
近藤 どうして？
深山 え？
近藤 理由
深山 民間療法です
近藤 民間療法？
深山 ハリ治療で障碍が治るって、毎週、四国まで通ってるんです。お母さんの「必ず治る」という信念が大切だって、その教祖みたいな人が言うには
近藤 神頼みか
深山 オカルトですわ
近藤 （ゆっくり絵本を朗読する）「霜月二十日のウシミツにやあ、モチモチの木に灯がともる。起きてみてみる。そりやあキレイだ。おらもこどものころに見たことがある。死んだお前のおっとうも見たそうだ。山の神様のお祭りなんだ。それは、一人の子供しか見ることではできねえ。それも、勇気のある子供だけだ。」
深山 なんですか？
近藤 キレイなコトバだ

深山 児童文学の古典ですから

近藤 かなしいコトバを作っちゃいかんだろ

深山 え？

近藤 増えていくコトバはかなしいコトバが多いような気がするわ

深山、電話をかける。しばらくして、電話はつながった。

深山 あ、イノウエさんの・私、ソウジロー君の担任の深山です。あ、はい、はい、大丈夫でしたか？え？ソウジロー君が？それは大丈夫です。大丈夫です。火曜日の時間割で、はい、はい、明日は楽しいことをしようと思います。はい、はい

電話は切れた。廊下から声がする。

坂口の声 花は早めに摘まんとダメなんですよ

吉井の声 えーそうなんですか

坂口の声 花に栄養が取られるからね、芋が大きくなるんですよ

ドアが開く。坂口と吉井が入ってきた。

坂口 あらら

近藤 おう

吉井 おはようございます

深山 おはようございます

近藤 おはよう

坂口 吉井先生

吉井 はいはい

坂口 ちようどええわ。近藤先生は一応、理科専門やから聞いてみたらええわ

近藤 何何？一応って何？

坂口 芋芋

吉井 学級園のジャガイモがイマイチ大きくならないんですよね。愛をこめて水をあげてるんですけど

坂口 小学生かい

吉井 えーでも植物に愛情をかけると答えてくれるんですよ

坂口 それも一理あるかもね。さあ、理科の先生

近藤 えーっと

坂口 どうぞ

近藤 虫、ついてました？

吉井 どんな虫ですか？

近藤 アブラムシとか

吉井 キャー、ゴキブリですか？

近藤 いえいえ、緑の小さい、茎に群がるやつです
吉井 大丈夫やったと思います

(*2)

坂口 (深山に)深山先生

深山 なんですか？

坂口 時間ある？

深山 ええ

坂口 集めようと思って

深山 え？

坂口 教育課程検討委員会。ここままやったら支援学校自体がつぶれるわ

深山 今からですか？

坂口 今日しかないやろ？時間使えるのは

深山、沈黙する。

(*2より、同時に)

近藤 テントウムシはいましたか？

吉井 テントウムシが食べるんですか？

近藤 ニジュウヤホシテントウと言って、黒い斑点が七個じゃなくてたくさんあるやつです。こいつらはナス科の植物を主食としています。テントウムシは肉食ですがニジュウヤ

ホシは草食です

吉井 ナスですか？あのナス？いやいやナスではないです

近藤 ジャガイモはナス科ナス族の多年草の植物です

吉井 ジャガイモはナスやったんですか？

坂口 すごいやろ？近藤先生は(会話に入ってくる)

吉井 はい

近藤 で？

吉井 見ませんでした

近藤 葉は繁ってますか？

吉井 元気いっぱいです

近藤 それですね

吉井 なんですか？

近藤 芽かきはしましたか？

吉井 それはなんですか？

近藤 初期のころ、タネイモからたくさん芽が出てきたら、芽かきをして芽の数を減らすんです。2、3本残すくらいがいいの。栄養を集中させるから

坂口 花もダメですよ、先生

近藤 花摘みはよく言われるんですが、ジャガイモの場合はそんなに違いはないということです、はい

坂口 え？そうなん？

吉井 良かったあ。きれいやねんジャガイモの花、紫色で

坂口 あかん、俺、吉井先生に嘘教えてもうたわ

近藤 調理実習されるんですか？

吉井 ジャガバターです。実習届も出しました。子供ら、それ言うたらめちやくちや盛り
上がって、はしゃいで

深山 教頭が探してました。吉井先生を

吉井 なんやろ？教室に戻る前に教務室に寄ります

深山 昨日は

吉井 え？

深山 昨日、行かなかったんですね

吉井

深山 昨日の裁判

沈黙。

坂口 他人が口出しすることちやうやろ

深山

坂口 関係ないやろ

深山 そうですか

坂口 わかるんか

深山 え？

坂口 そんなこと言うたら . . .俺も深山が何考えてんのかわからんで

揺れる。教師たちはしゃがんだり、身構えたり。

近藤 動かないほうがいいですね

吉井 深山先生

深山 はい

坂口 もうええって

揺れる。

近藤 もうしばらくですね

揺れている。

二、午後三時

和室では、中野と教材販売員の稲垣が向かい合っている。稲垣の傍らにダンボー

ルが三箱、台車に積まれている。近藤は中野と稲垣の様子を見ている。少し離れて、事務机に深山と坂口。深山は坂口の作った書面を眺めている。

中野 スティックファスナーはこれです

中野が右手を挙げた。手にはスティックファスナー。

稲垣 どうやって使用するんですか？

中野 知らないんですか？

稲垣 いえそんなことは

中野 知らないんですね

中野、紙ファイルにスティックファスナーを通し、稲垣に提示する。

稲垣 ああすごい

中野 ね

稲垣 で？

中野 で？ってあなた

稲垣 ごめんなさい

中野 だから、挟んでいくわけですよ、書類を

稲垣 書類？

中野 先生方の大事な

稲垣 はあ

中野 (積んであるダンボール箱を指して)こんなにたくさん

稲垣 500って、ご注文を

中野 (スティックファスナーを揺らしながら)これが500ですから

稲垣 はあ

中野 何？

稲垣 え？

中野 これ

中野、一番上のダンボールを開け、商品を一個取り出す。用途がよくわからない箱状の物である。

坂口 「普通小学校と支援学校の授業時間数をそろえろ」ってどういうことや。おかしいやろ？

深山 おかしいと思います。体力的にも問題あるし、普通に考えて

坂口 俺はさ、百歩譲って、文科省は正しいと思うのよ

深山 百歩も譲るんですか？

坂口 支援学校の個別支援計画の考え方の根っこはさ、何？言うて？

深山 障碍の種類や個性が違うから、個々の課題を別々に設定しましょうってことですよね

(△)

坂口 そう言いながら同じにせえって、論理が破綻してるよね。文科省が例えば、人格のあるいち人間やとしたら、文科省君は分裂症ってことになる。俺はそれは違うと思うのよ。文科省は真っ当なのよ

深山 そうですかね

坂口 いや、真っ当だと信じたいのよ

(△と同時に)

中野 何？商品名

稲垣 わからないです

中野 それでいいんですか？事務用品専門の会社ですよ

近藤 中野ちゃん、いいんじゃないの？誰だって間違いはあるんだからさ

中野 責めてるんじゃないですか

近藤 そうなの？

中野 こういうことはきちんとやらせてもらいます。二度と同じ間違いを起こさないようにです

近藤 (稲垣に)ごめんねえ。(中野はちょっとカタイからねえ

稲垣 あの、昨今、当店では商品を商品番号で扱っております

中野 だから何？

稲垣 昨今、それに慣れてしまってます

中野 誰が

稲垣 私が。その、番号記号で処理しますと、合理的で能率的で仕事のスピードもアップしますし

中野 誰が

稲垣 私が

中野 それはそちらの都合ですよ

近藤 (箱状の物を手に取り)あ、これボクが使っちゃおうかなあ

中野 何に使うんですか？

近藤 えーっと、理科の実験のプリントとかね、まとめて入れておくにはちょうどいいんじゃないかな

中野 500もですか

近藤 ざっと10年分だねえ

中野 それに使用目的が違うことに勝手に流用してはダメですからね

近藤 そこは流用しようよ

稲垣 ああ、もう

稲垣、突然、大きな声を出してテーブルに突っ伏した。

近藤 中野ちゃん、どうにかならないの？
中野 なりますけど、これの納品、だいぶ遅れますけどね
稲垣 (突っ伏したままで) 実は家庭の事情がいろいろあります

近藤、中野からステイックファスナーを受けとつて。

近藤 誰、注文したの？何？これ

深山 あ、ボクです

近藤 深山先生の注文？

深山 はい

近藤 何してんの？

深山 え？

近藤 優先順位がおかしいよ。当事者だったら参加しないとダメだよ。稲垣商店さん、困
つてるから

深山 すみません、ちょっと大事な話をしてまして

稲垣 (顔をあげて) あの、実は娘が先週インフルエンザで、ずっと学校を休んで

中野 はい

稲垣 夫の父親の介護も急に私にのしかかってきて、私しかいてなくて

中野 稲垣さん、プライベートの話はいいですから

稲垣 でも、これ言うとかないと

中野 そんなことを加味してお互いに仕事を進める方が相手に失礼だと思うんですよ

稲垣 あの

近藤 いや言わなくていいですよ

中野 そうですよ

近藤 いや違うんだって

中野 なんです

近藤 たいしたことないじゃない

中野 え？

近藤 こんな棒(ステイックファスナー)を掲げて

中野 先生方が必要なものですよ

近藤 深山君

深山 え？

近藤 すぐに使うの？これ

深山 学期末に間に合えばそれで

近藤 だったらどうして？

深山 (稲垣に)すみません。いつでも大丈夫ですから

稲垣 いえいえ

近藤 そもそも数字のやりとりってねえ、実物を見ないと

中野 そのおかげで事務処理が飛躍的にスピードアップしてるんですから

近藤 ついていけないって

中野 近藤先生はアナログですから
近藤 中野ちゃん、がんばりたい気持ちにはわかりますよ

中野、黙する。ゆっくり立ち上がる。

中野 事務室、行ってきます

稲垣 え？

中野 実物を、写真でも、確認しなかった私のミスでもありますから

中野、去る。

近藤 ちよっと見てくるわ

坂口 行ってらっしゃい

稲垣 あの、私

近藤 意外と冷たいよ、深山先生。坂口先生も
坂口 え？

近藤、中野のあとを追いかける。

深山 すみません、ややこしい注文でしたよね？

稲垣 そんなことないです

坂口 焦ってるの？

深山 何ですか？

坂口 中野さん

深山 そんなことないと思いますけど

稲垣 工事がやっと終わりましたね

坂口 なんですか？

稲垣 校門の前の道路工事です

深山 そうですね

稲垣 ずっとやってましたよね。私が桜田市に越して来てからやから、何年ですか？道路の拡張工事ですよ。永久に続くかと思ってました。緑ヶ丘支援学校の七不思議のひとつ。近所で有名でした

坂口 他もあるんですか？七不思議って

稲垣 ちよっとベタなんですけど、夜の音楽室の

深山 終わりましたよ

稲垣 あれで終わりですか？

深山 なんですか？

稲垣 必要ですよ。歩道橋。弱い子供さんが通いはる学校なんやから

深山 そうですね

稲垣 先生方は造って欲しいって言いはらへんのですか？

坂口 毎年、要望をあげてます。これがなかなか

稲垣 優先順位が低いのかしら。工事がなかったら、事故は起こらなかったんですよ

坂口 え？

稲垣 ほら、去年の事故。事故を起こした若い人、シヨベルカーの運転手やっただけでしょ？

居眠りしてたとか。会社にこき使われていたんですかね？やっただけしたらブラック企業

ですねえ、工事会社

坂口 えーっと

稲垣 この生徒さん、五年生の男の子、亡くなりはって、ホンマにかわいそうに。あのとき、私も仕事でこの辺、うろろろしてましたから、すごかったですね。パトカー、救急車。献花台、ありましたよね？次の日やっただけかな、御花持っていきました。人がたくさんいました。テレビの人、新聞記者。私、お花供えて、手を合わせてたら、ワッって囲まれました。勝手に写真撮られて、インタビューされたり、私、6チャンネルの5時のニュースにちょっとだけ映りました。それはいいんですけど。あれ、みんな待ち構えてるんですね。手え叩いたら餌に寄って来るお腹のすいた鯉みたいでした。今の例え伝わります？テレビのこっち側やとわかりませんでした。一斉に取り囲まれて。ほかの子供さんも大怪我やっただけですね。もう大丈夫ですか？あ、女の先生も二人巻き込まれて。命は大丈夫やっただけみたいで

やや間。

稲垣 帰りますね

深山 え？

稲垣 (帰る用意をしながら) お忙しいときにすみませんでした

坂口 今日は我々も暇なんで

深山 えー、娘さん、大丈夫ですか？

稲垣 は？

深山 大変ですよ

稲垣 中野さんも大変ですよ

深山 え？

稲垣 事務室に、耳の聴こえない女の人もいるやないですか、伊藤さん？私、あの人と仲良しになって、

深山 はい

稲垣 中野さん、伊藤さんにパワハラしてたんですよ？それが問題になって、事務室から追い出されたって。これは七不思議には残念ながら入ってないんですけど

深山 そんなことないですよ

稲垣 七不思議に数えたほうがいいですか？

深山 いえいえそうやなくて

稲垣 いえいえわかってます。わかっています。冗談ですから

深山

稲垣 ビックリしましたね

坂口 え？

稲垣 (声を出さず手話だけで) 地震、大丈夫でした？」

坂口 えーっと

稲垣 これ、伊藤さんに教えてもらたんです。(今度は手話に声をつけて) 「地震、大丈夫でした？」

稲垣、満足して、台車を押し、去ろうとする。

深山 手伝いますよ

稲垣 (手話だけで) 稔、一人で大丈夫です。会社は近くですから、台車をゴロゴロ押し
て帰ります』

深山 え？

稲垣 ああ、(手話と声で) 「私、一人で大丈夫です。会社は近くですから、台車をゴロ

ゴロ押しして帰ります」

坂口 ああ

深山 お疲れさまでした

稲垣、去る。

坂口 しんどいわ

深山 そうですね

坂口 ホンマなん？中野さんのこと

深山 はい

坂口 ちよっと態度変えんとあかな

深山 なんですか？

坂口 パワハラする人やろ

深山 こんな部屋に追いやられて屈辱やと思いますよ。でも、がんばってはると思います
よ

坂口 セカンドチャンスはないからなあ

深山 え？

坂口 見ててみ？来年、飛ばされるで。障碍者にパワハラは決定的や

ドアが開く。吉井が入ってくる。

吉井 ごめんなさい。遅れました

深山 全然、大丈夫ですよ

坂口 パソコンに送ったの、読んでくれた？

吉井 はい、読ませてもらいました。コピーしてきました

坂口 どう？

深山 いきなり

坂口 会議の効率化や

吉井 えっとですね

坂口 ああ、あっちでしよか

吉井 はい

坂口、吉井、深山、和室にাগり、テーブルを囲む。

吉井 これってつまり 「教育課程検討委員会を小学部の有志で立ち上げよう」という提案ですよ

坂口 せや

吉井 現場の教師が教育課程を作成するっていうことですか

坂口 現場から声を上げていかんとあかん時代や

深山 それはそうなんですけど

坂口 文科省や教育委員会が現場の何をわかるって言うねん

深山 え？

坂口 我々が、いちばんようわかつとんねん

吉井 何をですか？

坂口 子供のこと

深山 管理職はどう言いますかね

坂口 なんや深山は教頭になりたいんか

深山 そんなこと言うてないですよ

坂口 管理職はええ顔せんやろな、教育委員会にたてつくわけやから

吉井 そうですねえ

坂口 おかしいやろ。授業時間数が増えることも、支援学校の小学生が英語せなあかんことも、担当の教師が遠足の下見に行ったらあかんことも

深山 個別支援計画に矛盾してますよね、確かに

坂口 なんのための特別支援やっていう話や

深山 遠足の下見の話ですけど

坂口 おう

深山 寝たきりの子、車椅子の子、走ったらあかん子、お弁当食べられへん胃ろうの子、首が固定されてて揺らしたらあかん子、いろんな障碍の子がいるわけやないですか

坂口 そうやで

深山 例えば緑地公園に行っても、それぞれの子供の課題もちやうし、気を付けるべきポイントも異なるわけでしょ、トイレに連れていくタイミングも計画せなあかんし、遊ぶ遊具もこちらがきちんと選択せな、命に関わるわけでしょ

坂口 だからムジューンや

深山 それを去年行った場所やからって、今年は下見に行くなってどういうことですか？行く子供は違う訳ですよ

坂口 ムジューンやムジューン

深山 なんですか？

坂口 予算がないからやる。教育予算が大きく減らされとるのは事実や。それもこつそり。
ニユースにもならへん

深山 政治が悪いんですよね

吉井 それ、私が言うてもどうにもなりませんよ

坂口 管理職って我々より給料ええんやろ

吉井 そらそうでしょう

坂口 いくら？

深山 知りませんよ

坂口 いやから管理職に戦ってもらうねん

深山 訴えてくれますかね

坂口 子供のためやったら動くやろ

深山 え？

坂口 給料分は働いてもらわな

廊下から声がする。 田代と近藤である。

田代の声 掃除手伝いますね

近藤の声 いいからいいから。せっかくの休みだから

田代の声 美味しい紅茶分、働きます

近藤と田代がドアを開けて入ってくる。

田代の手には人体模型の骸骨。近藤は箱。箱の中身は理科室の教材。

坂口 え？何？それ（人体模型を指す）

田代 トニーです

坂口 名前、つけたらあかんやろ

田代 なんですか？

坂口 愛着わくやろ

田代 愛着ですか？

坂口 なんて外国人？

近藤 年代物で、海外から取り寄せたようですね、だからですか

坂口 いやいやそんなこと言うてんのとちゃうねん

田代 負傷してます

坂口 負傷って、オイ

近藤 そこに寝かせてくれますか？

田代 了解です

田代、テーブルに人体模型を丁寧に寝かせた。

近藤は丁寧に人体模型を取り扱う。

吉井 無理です

坂口 え？無理？

吉井 管理職。動きませんよ

坂口 あきらめたら負けや

吉井 教育委員会の命令を速やかに現場に反映させることが評価されるんですよ

坂口 校長も教頭も評価は点数制やからなあ

深山 それは私らもですから。点数が低かった教師は平でも管理職でも強制転勤の対象になりますから

坂口 それがな、不条理やねん

深山 はい

坂口 切り捨てやろ？問題の澱（おり）が一個の学校にたまらんように首をすげかえて、府のいろんな学校をぐるぐる循環させるわけや。点数の低かった問題教員は違う学校に代わっても人間はそう簡単に変わらんわけや

深山 合理的かもしれませんね

坂口 え？どういうこと？

深山 効率的。ジャンブジャブと私らをかき回してたら、問題が形として像をなさない。問題が起こったら、世間にばれる前に転勤

坂口 俺らは汚れた洗濯物かい

深山 その喩えはよくわかりませんが、でもヒト扱いされてないってことは感じますわ

近藤 複雑骨折ですわ

田代 はい

近藤、養生テープをベリベリと引き出す。

近藤 肋骨も数本いってます

田代 前からちやうんですか？

近藤 それもそうだね

田代 購入は何年になってます？

近藤 えーっと、ああ、これ。（購入シールを見つけたが）読めないね

深山（近藤に）遊んできますよね

近藤 いやさ、今年度は理科にもう予算をつけてくれないらしいんだよね

深山 もしくは邪魔してますか？

田代 そっちは愚痴会議やないですか

吉井 え？

田代 聞いてて、全然、生産性がないですよ。何してはるんですか？

坂口 いやいや田代先生、ごめんごめん、そうなるかもしれないわ。時間を有効に使わな。話戻すで。教育課程検討委員会の有志での設立について

吉井 あの

坂口 はいはい

吉井 有志で検討委員会を作っても、いろんなことがいい方向に実現できるとは思えないんですけど

坂口 あきらめた時点でそれは職場放棄やで

吉井 検討委員会のメンバーから強制転勤になるんじゃないんですか
坂口 え？

テープのビリビリ音。

田代 満身創痍ですね

近藤 おお四字熟語

田代 捨てますか

近藤 いやいや人体模型は意外と高価なんだよ

田代 いくらですか？

近藤 数万円。知らないけどね

田代 なるほど

近藤 あと数年頑張ってもらわんと

近藤は派手にテープをビリビリと引っ張る。

深山 することないんですか？

近藤 え？

深山 することです

近藤 することをしてますから

坂口 それでもや

吉井 はい

坂口 子供を守るんが俺らの仕事やる？

田代 吉井先生

吉井 え？

田代 今日、学年会しますか？

吉井 そうね

田代 文化祭の取り組みの話、つめておきたいです。6年生は今年は劇を作るんですよ

吉井 はい

田代 ケース別研究会もしたいし。ツブラさん、最近、落ち着きないですよね。休み時間も一人でいることが多いし

吉井 そうね

田代 吉井先生はなんか策があるんですか

吉井 そうね

田代 (立ち上がって) 吉井先生

吉井 何？

田代 この仕事は何を優先させたらいいんでしょうか？

沈黙。

田代 アキト君を見たって・・・ツブラさんが
吉井 アキト君を

田代 5時間目の体育で赤白帽忘れたから教室に取りに帰って、そのとき、アキト君が階段の踊り場の陰に立ってたって

深山 それで？

田代 幽霊とかそんなやなくて。見たんはツブラさんの主観やから。でもそれは、だから、ホンマに見たんやと思うんですよ

吉井 指導はしましたか？

田代 指導？

吉井 はい

田代 話を聞きました

吉井 ツブラさんはなんて言うてました？

田代 声をかけたって。「久しぶり。元気？」って。でもアキト君は黙ってたって言うてました。アキト君はニコニコ笑ってたって言うてました

深山 否定したらあかんから

田代 ……

深山 話をきちんと聞いてやるのが大切やから。スクールカウンセラーのアドバイスであつた。充分、話を聞いて

田代 カンタ君が言うてました。「アキト君と一緒に劇をやりたい」って。「アキト君と一緒に」って。今までアキト君の話題はクラスで一切出なかったのに、急にでした。私、笑って、冗談にしてしまつて。きっとカンタ君、思い切つて、やっと言うたんやと思う

んです。私、ごまかして。私、なんて答えたらよかつたんですか？

吉井 田代先生

田代 はい

吉井 言葉にしてみますから

田代 え？

吉井 聞いてくれますか

田代、吉井を見つめる。

吉井 ツブラさんと、カンタ君と、リナさんと、ナナミさんと、ユウジ君と、トユン君と、ユウイチ君と、アキト君と、私とあなたで・・・劇を作りたいと思つてます

田代 え？

吉井 6年1組、みんなで

田代 アキト君とですか？

吉井 私たちがアキト君と関わったこと、私たちに起こったこと、起こってからのことをみんなで丁寧に考えて、今の時点での物語をきちんと作つて、みんなで意見出し合つて、

それぞれがそれぞれの物語を大事に抱えて、せめて、それでみんなを卒業させてやりたいと願っています

田代 はい

吉井 私はアキト君を助けられませんでした

坂口 誰もそんなことはできひんねんて

吉井 そばにおったのに

坂口 せやからな

吉井 田代先生

田代 はい

吉井 悲しいことは、私が引き受けるから

深山 大丈夫ですか？

吉井 え？

深山 子供ら、難しくないですかね

吉井 難しいですか？

深山 創作劇。実際に経験したことを劇にするんですよ

坂口 何が言いたいねん？

深山 っらかったことを思い出させることにもなるんやないですか

坂口 それはやな

吉井 口に出さなくても、子供たちの身体（からだ）にはずっと染み付いているんやと思います。それから。生きていくときにもずっと。消えないと思うんです

深山 勝算はあるんですか？

坂口 勝ち負けちゃうやろ

深山 教育はバクチでやったらあかんと思います

吉井 深山先生の言うとおりでだと思います

深山 せやったら

吉井 悲しみは消えないと思うんです。でも、それを抱えつつ、しっかり地面を踏みしめて、生きていく力をなんとか、みんなでつかみ取りたいと願っています

坂口 悲しみで花を咲かせようというわけやな

深山 なんですかそれ

坂口 いやいや喩えや、わかるやろ？

深山 保護者からクレームがこないですか

吉井 大切なものと、私のやるべき仕事は見えてるつもりですから

近藤は絵本を見ている。

近藤 「勇気」が必要ですね

吉井 「勇気」ですか？？

近藤 子供と精一杯「劇」を作ってください。僕は応援します

坂口 大道具とかやるで。俺、そんなん意外と得意や

吉井 ありがとうございます

田代 教室の掃除してきます
近藤 はい

田代、去る。

吉井 坂口先生、教育課程検討委員会の設立の件ですけど

坂口 おう

吉井 さっき、私、否定的なことを言ったかもしれないですけど

坂口 かまへんって。俺はいろんな意見を欲してるから

吉井 坂口先生は間違ってるじゃないです

坂口 何？

吉井 やり方があると思うんです。うまいやり方が。みんなで知恵を絞ったら、なんか突

破口が見えてくると思うんですよ

坂口 せやな

吉井 はい

坂口 会議は延期するわ

深山 え？

坂口 いつでもできる。それに継続して考えていくってことが大切やで

吉井 はい

坂口 教室

吉井 え？

坂口 田代先生、待ってはるやろ

吉井、去る。坂口、人体模型を見て。

坂口 それ、今時、使うんですか？

近藤 重宝しますね

坂口 アナログですよ。このICT教育全盛の時代に。本物の映像を見せた方が勉強になる
んちやうんですか

近藤 だめですねえ。映像はすぐに消えちゃいますから。インパクトだけです

坂口 まあそらそうや

近藤 子供たちの頭に残らないですね。特に本校の子供は。これは触れますから

坂口 なるほどな

近藤 子供が何に実感を持ってくれるのか。難しいです。いつも悩みます

坂口 (深山に)運動場言ってくるわ。走ってくる

深山 今からですか

坂口 体を鍛えとかんと

深山 毎日、走ってるやないですか

坂口 日課を欠かしたらアンテナが錆びてまうからなあ

坂口、出ていく。

近藤　なんで反対を

深山　え？

近藤　6年生の劇作り

深山　反対してないですよ

近藤　そうかな

深山　この仕事は冷静さを失ったらだめですから

近藤　正論だね

深山　正論ですか

近藤　子供たちと夢中で何かをするってことがね、結果、いいんだって

深山　それって怖いことですよ

近藤　豆太は無我夢中だったから、木に灯りがともっているところを見ることができた。

これ、子供に教えてるんだろ？

深山は近藤から絵本を受け取る。

深山　リライトはホンマはあかんと思うんですよ。話があらすじになってしまっただけ。自分が作ったリライト文を読むと、物語世界のいろんなものが零れ落ちるような気がするんですよ

深山、絵本をめぐって。

深山　ホントは細部が大事なんですよね。起承転結ではなくて

近藤は黙っている。

深山　登場人物がどのようにセカイと向き合っているのか。息遣い、登場人物は生きてるんやから

深山、和室に上がり、絵本と自分の作ったリライト文を照らし合わせる。

近藤　まあいいんじゃない？

深山はペンを持って、何か書き込んでいる。

近藤　国語のことは正直よくわからんだけでもね

ドアが開く。戸倉教頭である。

戸倉 いいかしら
近藤 はい、どうぞ

戸倉 (廊下に向かって)どうぞ。こんなところですが

男が入ってくる。杉原アキトの父親である。

杉原 近藤先生

近藤 お久しぶりです

杉原 お元気ですか？

近藤 はい

杉原 深山先生

深山 こんにちは

杉原 こんにちは

戸倉 どうぞ

杉原 ありがとうございます

杉原、靴を脱いで和室に上がる。続いて、戸倉も。

戸倉と杉原、座布団に座る。

近藤 お茶、入れましょうかね

杉原 どうぞ、おかまいなく

近藤はお茶の用意。

杉原 こっちのほうがいいですね

戸倉 え？

杉原 校長室より

杉原は笑顔。

杉原 早いですね

戸倉 え？

杉原 あれから1年になります

戸倉 ええ

杉原 いやいや、遅く感じることもありまして

戸倉 ええ

杉原 遠い昔のように思うこともあります

戸倉 昨日のことは聞いております

杉原 ありがとうございます

戸倉 今日は・奥様は？

杉原 家内ですか
戸倉 ええ

杉原 今日のことはメールで伝えたんですが、返信がなくて
深山 メールで？

杉原 家内とは別居しています

深山 そうなんですか？

杉原 裁判が終わったら、離婚しようと話しています

やや間。

杉原 すいません、私事で

戸倉 吉井は、もうすぐ参りますので

杉原 すみません、お忙しいときに

戸倉 いえいえ

近藤 どうぞ

近藤、お茶を出す。教頭先生にも。

杉原 ありがとうございます

ドアが開く。坂口が急いで入ってきた。

杉原 坂口先生

坂口 こんにちは

杉原 お久しぶりです

坂口 そうですね

杉原 お元気ですか

坂口 ええ、はい

続いて、田代が入ってくる。

杉原 田代先生

田代 お父さん

杉原 こんにちは

田代 こんにちは、昨日は、あの

杉原 傍聴席に先生がいてくれて、とても心強く思いました

田代 あの、えっと

杉原 修学旅行はいつですか？

田代 え？

杉原 修学旅行です

戸倉 来週です

杉原 確か広島でしたよね

田代 (戸惑いながら) はい

杉原 アキトが4年生のときに6年生の先輩からお土産をもらって、もみじ饅頭ですか。広島の名物です。中身がチョコレートでアキトがびっくりして、とても美味しかったですよ。うで

戸倉 そうですか

杉原 広島で、もみじ饅頭の手焼き体験をするんですよね？アキトはそれをととても楽しみにしていました。ホントに

戸倉 はい

杉原 手作りのもみじ饅頭をお土産にするんだと言って、とてもはしゃいで。ですから印象に残ってます

ノックの音。ドアが開く。吉井が入ってくる。杉原、立ち上がる。

杉原 吉井先生

吉井、杉原を見つめる。それから、深々と頭を下げる。

杉原 顔をあげてください

吉井、顔を上げない。

杉原 顔をあげてください

吉井はゆっくり顔を上げる。

杉原 もう身体は大丈夫なんですか？

吉井 はい

杉原 お会いしたかったです

吉井 お父さん．．私．．

杉原 アキトは吉井先生の話ばかりでした

吉井 ．．．

杉原 先生に足し算を教えてもらった。先生に漢字を教えてもらった。先生と一緒にドッジボールをした。先生と一緒に給食を運んだ。先生と手をつないだ。先生にほめられた。先生に怒られた。先生が泣いた。先生が笑った

吉井 ．．．

杉原 アキトは吉井先生が大好きでした

吉井 ．．．

杉原 学校が大好きでした

杉原、周りの先生たちに頭を下げる。

戸倉 お父さん、私たちも覚えてます

杉原、頭を下げたまま。

戸倉 とても明るくて、笑顔の素敵な、太陽のようなお子さんでした

杉原 はい

戸倉 元気があつて、がんばりやさんで

杉原 (強く)やめてください

やや間。

杉原 アキトのことを忘れたほうがいいのか、思い出したほうがいいのか、まだ私にはわかりませんので

杉原、顔を上げる。

杉原 寄り添うことは難しいですね

戸倉 え？

杉原 妻のことです

吉井 あの。お母さんは

杉原 今がいつなのか？自分が今、どこにいるのか？何を感じているのか？何を思っているのか？何がしたいのか？わかりません

やや間。杉原、お茶を飲む。

杉原 ごちそうさまでした。お時間を割いて頂きまして、本当にありがとうございます

杉原、去ろうとする。

杉原 どうしても先生方に伝えたいことがあります

吉井 え？

杉原 でもそれが何なのか、ここに来るまでわかりませんでした

杉原、少し笑って、去る。教師たち、しばらく立ち尽くしている。

近藤 お父さんを校門まで

戸倉 あ、私も行きます

近藤 追いかけます

近藤、去る。戸倉、ドア口に。振り返って。

戸倉 先生方

全員、戸倉を見る。

戸倉 悲しみは受け止めましたか

坂口 え？

深山 教頭先生

戸倉

深山 なんですかそれ

田代 あの

戸倉 はい

田代 受け止めます。受け止めたいです

坂口 えーっと

戸倉 でしたら

田代 はい

戸倉 命のことは忘れてください

吉井 え？

戸倉 いつも笑顔でいてください。教師は孤独です。孤独になってください。それに耐えてください。しなやかに。嵐に揺れてもけっして倒れない雑草であってください。孤独を背負わないと、人に寄り添うことはできません。無駄だとわかっていながら一生懸命取り組んでください。その行為はけっして無駄ではありません。肩の力を抜いてください。話し合ってください。議論をしてください。仲の良い教師集団であってください。その姿を子供たちに見せてやってください。疲れたら休んでください。やりたいことをしてください。変化を恐れなくてください。学校は子供たちの「命」を預かっています。私たちの仕事は子供たちの「命」を守る仕事です。ですから、一度、忘れてください。「命を守る」というコトバに縛られて、私たちは怯えています

深山 どうするんですか

戸倉

深山 どうやるんですか

戸倉

深山 ちょっと、整理がつかえません

戸倉 そうですね

深山 理想論ですか？

戸倉、和室に上がり、佇む。

戸倉 私はもともと企業に勤めていました

深山 はい

戸倉 前の学校で、普通中学校やっただんですけど、初めて学校現場に入ったとき、ぬるま

湯だと感じました

深山 はい

戸倉 効率的、合理的。企業理念の導入が私の使命でした。授業のマニュアル化。子供の評価はできるか？できないか？社会に適応できるかどうか。誤解されるといけません。その学校の先生方はみんな真面目でした。真面目に必死に子どもたちのために尽力されていたと思います。ある日、中2の女の子が自宅のマンションの8階から飛び降りました。イジメが原因でした。学校の誰もがイジメの事実を知りませんでした。命は助かりました。でも重体でした。学校に連絡が入り、私はすぐに臨時職員会議を召集しました。そのときに校長が語ったことは、マスコミ対策、学校に落ち度があったのかなかったか、世間に釈明できるのか？それに終始しました。一度も、その女の子に関してのコトバはありませんでした。先生方の方からも一言も。その事件の前から、私たちは怯えていました。教師も子供たちもです。その女の子を自殺未遂に追いやったのは学校でした。いえ．．私でした。事件のことは保護者の意向もあって、情報が遮断されて、世間には伝わらなかったようでした。それから、その女の子に関わった先生、管理職も含めて、5年以内に、みんなほかの学校に転勤させられました。まるで、何事もなかったかのように。それで、私は3年前に本校に来ました。

沈黙。

戸倉 学校は、ぬるま湯でいいと思います

吉井 でも

戸倉 はい

吉井 では、「命」のことはどうするんですか？

戸倉

吉井 私たちは子供たちの「命」を、守らなければなりません

戸倉 そうですね

吉井 それが仕事やないんですか

戸倉 「命を守る」ことで、私たちは怯えています。怯えた身体では「教育」はできません

坂口 怯えてる？

戸倉 楽しんでください

坂口 え？

戸倉 教育をです

吉井 しかし、ですね

戸倉 「命」のことは、私が責任を持ちます

深山 教頭先生が

戸倉 それが

吉井 はい
戸倉 「学校」という組織の力です

やや間。

戸倉 今日はもう帰っていいことにしましょう
深山 え？

戸倉 年休は入力しなくてかまいません。あとで私がやっておきます。今日はゆっくり休んでください

坂口 (大声で) ああ

戸倉 (驚いて) 何？

坂口 いや、お父さん

戸倉 あ、そうでしたね

戸倉、急いで出ていこうとするが。

坂口 大丈夫です。引き留めてますわ。近藤先生、ベテランやから

戸倉 はい

戸倉、出て行った。

田代 私も行ってきます

田代、追いかけた。深山、椅子に座る。

坂口 行かんでええの？

吉井 はい

吉井、立ち尽くす。

三、余震の間に

地面が揺れている。

深山が一人、浮かび上がる。いや、他に二つの影。少年と女である。

少年 笑ってください

深山 なんで？

少年 深山先生の笑顔が好きでした。楽しかった。楽しそうで

深山 誰？

少年 今は強張ってます。なんでですか？

深山 あんな

少年 はい

深山 えーっと

女 気にしないでください

深山 あなたは

少年 ほら、すぐに考えることをやめるよね

深山 考えてるよ

少年 ではでは、どうぞ

深山 ソージロー

少年 ブー

深山 オウスケ

少年 ブー

深山 ソウタ

少年 ブー

深山 ハルヤ

少年 ブー

深山 アキト

少年は黙っている。

女 答え合わせですか？

深山 お母さんですよ

女 私ですか？

深山 アキト君の

女 そうしますか？

深山 え？

女 コトバは便利です。内的言語。想像力とも言うんではたか

少年 （女に）お母さま！

女 ほら、関係を取り結べばそうなりますね

深山 えっと

女 どうぞ

深山 1年たっても、まだ、かけるべきコトバが見つかりません

女 誰に？

深山 なぜ、あなたはそんな服を

女 そう見えますか？

女は警備員の服を着ている。

深山 あの日、あなたは、横転した重機の前に立っておられた

女 ええ

深山 みんなが救急車でそれぞれの病院へ搬送されたその後、あなたは肅々と交通整理をしておられた

女 ええ

深山 警備員の制服だけが私の脳裏に焼き付いています

女 だからですね。私が制服姿であるのは

深山 続けてかまいませんか

女 自問自答ですね

少年 四文字熟語！

女 そのことがわかってらっしゃるなら

深山 私はあの日、教材倉庫にいました

女・少年 はい

深山 明日の算数の授業に使う教材を探していました

女・少年 それで

深山 図形の勉強で、大型定規、大型三角定規、マス目の入ったホワイトボード

女・少年 それから

深山 大丈夫ですから

少年の気配。

深山 君はアキトではありませんね

少年 どっちでもいいですよ。それは大事なことではない

深山 あれからずっと、アキトは、私の前には現れてくれませんから

女 それも言葉

少年 それもコトバ

深山 え？

女 自分を縛るのも解くのも、「言葉」ですよ

深山 私はあの日、教材倉庫にいました。明日の算数の授業に使う教材を探していました。

図形の勉強で、大型定規、大型三角定規、マス目の入ったホワイトボード。その時、

校内放送がありました。「5年生の担任の先生は至急、校門の前に集まってください」。

妙な放送だと思いました。それからすぐに「全職員は至急、校門の前に集まれ」との放送。私は、ぼんやりしていました。外で何か重大なことが起こっているに違いないと頭

では理解しましたが、体が動きませんでした。何故だかわかりません。「最悪なことは起こらない」と信じ込もうとしていたのかもしれない。私はすぐに校門に行かなかった。

やがて、今まで聴いたことがないくらいの数の救急車のサイレン。私はそっと私の耳をふさぎました。しばらくして、私は、外に出ました。ロープが張られて、すでに現場には近づくことができなかつた。四方に遠ざかる救急車のサイレン。「男の子が心肺

停止らしい」という誰かの声が聞こえて。私は、怯えていました

女 物語が始まりましたね

深山 物語？

女 あなたの主観の物語。いよいよ心情の吐露ですか？

少年 トロは好きですね。回転ずしのチェーン店に行くと必ずトロは食べます。基本、アナゴ中心のチョイスですが

女 その前に

深山 え？

女 見てきたように話しますよ。

深山 え？

女 いつもの風景。いつもの日常。下校時間。5年生の児童たちは並んでバス停まで。先頭と最後尾に先生が二人。最大限、安全に気をつけて。交差点。信号待ち。工事現場に向かうショベルカーがゆっくり方向を変えて歩道に乗り上げた。時速15キロのスピード。でも集団は避（よ）け切れなかった。子供の悲鳴。大人の怒鳴り声。私は道路の向かいにいました。黄色い旗を持って。気づきませんでした。間に合いませんでした。どうしてあんな事故が起こったのか理解が及びません。昨日から始まった裁判で事故の理由は明らかに becoming いくとは思いますが

深山 もういいです

女 知っていることでしたね。その時に知ったのか、後から知ったのか

深山 はい

女 続きはどうしますか？

深山 続きですか？

女 誰に言いますか？それはいつですか？

深山 今は、その

地面は揺れている。

女 地震ですか？

深山 余震ですね

少年 深山先生は僕に修学旅行の話をしてくれました。放課後の図書室です。深山先生と僕はよくお話をします。「自分は何度も行ったことがあるから」と言っていました。新大阪から広島。新幹線には初めて乗ります。新幹線を降りてすぐに広島焼きを食べるみたいです。めちゃくちゃ美味しいって言っていました。それから平和公園に行きます。原爆ドーム。社会の時間に吉井先生が戦争のお話をしてくれました。僕は戦争は悲しいと思います。クラスの友達とたくさん折り鶴を作りました。折り鶴の折り方は田代先生が優しく教えてくれました。「原爆の子の像」にお供えます。12歳のときに白血病で亡くなった佐々木貞子さんが祀られているそうです。僕と同じ歳くらいです。夜はホテル。すごいごちそうがでるみたいです。夜の集いでは演（だ）し物をします。僕はカンタ君と流行っているダンスをします。二人でYouTubeを見て研究しました。次の日は宮島観光です。厳島神社という不思議な神社があるらしいです。なんと海の上にあるそうです。なぜか鹿もいるそうです。宮島は日本三景のうちのひとつだそうです。これも吉井先生が教えてくれました。神社を見たあと、伝統会館でしゃもじのストラップを作ります。そのあと、もみじ饅頭を作ります。なんと手作りです。前に先輩にお土産でもらったことがあります。今度は僕が作って、お土産にします。お母さんに、お父さん

に、僕の妹に、もちろん僕の方もです。本当に楽しみです。僕は早く6年生になりたいです

深山はアキトの声を聴いている。

四、午後七時

電話が鳴る。近藤が受話器を取る。部屋には、深山、近藤、坂口。

近藤 はい．．えーっと、いやいや、こっちが行くから。え？そうなの？はい、はい、わかりました

近藤は受話器を置く。

坂口 なんて言うてました？

近藤 あがってきてもくれるみたいですね

深山 大丈夫ですか？

坂口 痩せても枯れても生活安全部のキャップやからな、俺が受けんとあかんやろ

深山 いえ、管理職に任せなくて

坂口 戸倉教頭、おらんし

近藤 帰宅してないと思うよ、泊まるって言ってたから

坂口 外に出てんねんて

深山 詳しく聞いてなかったんですけど

近藤 何？

深山 誰が来はるんですか？

近藤 建設会社です

坂口 道路工事は終わったやろ

近藤 (メモを見ながら)連絡をくれたのは、IH Iインフラ建設株式会社・警備事業部の・斉藤さんですね

深山 また工事が始まるんですか？

坂口 それはない

近藤 (メモを見ながら)前の建設会社とは別の建設会社だね

坂口 当たり前や

近藤 予算消化工事かもしれないね

坂口 え？

近藤 時期的にはそうだ。今ぐらいから着工して

坂口 桜田市はどこまで腐ってんねん

深山 まだわからないですから

近藤 坂口先生、もしそうだったら私がガツンと

坂口 いや、俺がガツンと言うから。そのための生活安全部や

深山 えーっと

坂口 何？

深山 僕らが何を言うても

坂口 俺もそう思ってるよ。小さな声や。しよほい力や。でもな、大多数が間違った激流を作ってたなら、その流れに棹差すのは俺ら教師や

深山 あの

坂口 なんや

深山 「流れに棹差す」って、本来は、船頭が川の流れに逆らわずに棹を差して船を操ること、うまく時流に乗るってことですね。逆の意味です

坂口 そうなん？

深山 時流に乗ってどうするんですか

坂口 ああ賢なっただーって、ちょっと待って。知識があるってことは、あながち考えもんじゃない

深山 なんですか

近藤 遅いね

深山 中野さんが案内してくれはるんですよ

近藤 そう言ってたよ、電話で

坂口 中野ちゃんはなんで残ってるの？

近藤 自分が連絡受けたから責任持つって

ドアが開いた。吉井と田代。

吉井 私ら、もう出ますね

坂口 まだおったん

田代 まだいてはるんですか

坂口 ちよつとな、いろいろ山積みやから

吉井 教頭先生が帰っていいって言ってくれはったのに

深山 そっちも。今の時間まで

田代 予定が立ちました

深山 予定？

田代 劇の授業計画です

坂口 良かったやん

深山 田代先生

田代 はい

深山 猫、大丈夫？

田代 大丈夫です。夕方、エサをあげましたから

深山 え？一回、家に帰ったん？

田代 いえ、スマホで。遠隔操作でエサをあげることができるんです

坂口 え？猫？

田代 部屋にカメラ何台か設置してて。見ます？私の家族

田代、スマホを取り出し出して操作をする。

田代 (大きな声で) 運動会

深山 え?

田代 え?え?え?え?

田代はスマホをいじる。部屋に何台もあるカメラを切り替えているのだ。

坂口 元気なんはええことや

田代 違うんです。ミントがレモンを追いかけまわしてるー

深山 え?

田代 ミントは先住猫で、ときどきレモンにマウンティングするんですよ。猫社会のこと
やから、ある程度は目えつぶってるんやけど、度が過ぎることがあって

坂口 なるほどな

田代 帰ります

近藤 帰り帰り、それがいいよ

田代 吉井先生、また明日

吉井 はい

坂口 お疲れー

田代 お疲れ様でしたー

近藤 猫さんたちを大事にね

田代 はい

田代、急いで出ていった。

坂口 猫、飼うのも大変や

深山 猫、好きなんですか?

坂口 俺は犬派や

深山 え?

やや間。

吉井 そろそろ私も

坂口 ああ、えーっと

近藤 吉井先生

吉井 なんですか?

近藤 えーっと

坂口 建設会社に来るねん、今からここに

吉井 建設会社ですか?

近藤 事故とは全然関係ない会社なんだけどね、先生たちに会いたって
吉井 はい

坂口 なんの工事かわからんねん

吉井 そうですか

近藤 吉井先生に黙っておくのもと思ひまして

ドアの向こうから中野の声がする。

中野の声 職員研修室です・・・大丈夫です。いつもはもっと遅くまで残ってはりますか
ら

先生たち、来訪者に身構える。ノックの音。

近藤 どうぞ

ドアが開く。

中野 今、いいですか

近藤 はいはい、どうぞどうぞ

中野（斉藤に声をかける）どうぞ

斉藤が入ってくる。坂口以外は立ち上がる。

斉藤 こんばんは

近藤 こんばんは

斉藤 IHIインフラ建設株式会社警備事業部の斉藤です

坂口 インフラって何？

斉藤 インフラストラクチャーの略語です

坂口 せやから

斉藤 インフラというのは産業や生活の基盤として整備される施設、つまり公共の施設の
のこととして、わが社では道路関係の整備を主に承っております

斉藤は名刺を先生たちに配る。

近藤 斉藤詩織さんですね

坂口 そこではなんやから、こっち、座って

斉藤 はい

坂口 どうぞ

斉藤 ありがとうございます

斉藤、椅子に座る。

坂口 いいですか

斉藤 え？

坂口 なんの工事なんですか？

斉藤 歩道橋の設置工事です

坂口 え？

斉藤 ん？

深山 歩道橋？

坂口 えーっと

深山 急ですな

斉藤 はい

深山 一年前はそんな話、一切、出てなかったんで

斉藤 実は先月の市議会で案件が通りまして

近藤 桜田市の

斉藤 上司に聞きました。15863名の署名のある陳情書が市議会に届いたそうです。

リサーチを担当した議員さんも何人か工事実施に向かって動いてくれはったみたいですが

坂口 すごいな

斉藤 すごい数です。全て自署の氏名記入です。一人一人が書いてくれたんですね。しかし、

これだけの数が集まったのはSNSの効果が大きかったんだと思います

坂口 SNS？

斉藤 当時の様子はツイッターにあげられて、たくさん拡散されました。私も目にしました。

た。事故現場の様子、いろんな人のいろんなコメント。署名の呼びかけもあって、それで

で

深山 そうですか

近藤 お茶、どうぞ

斉藤 ありがとうございます

斉藤、お茶を飲む。

斉藤 それから、これも上司に聞いた話なんですけど、被害にあわれた男の子のお母様が、

毎月、市の教育委員会の教育長あてに手紙を送ってたらしいです

吉井 お母さんがですか？

斉藤 何通も何通も。全て手書きの長文の手紙だったそうです。丁寧な字で。それで教育

委員会も動いたそうです

吉井 はい

斉藤 お母様はいろんな思いがあったと思うんですけど

吉井 はい

斉藤 「今、学校に通っている子供たちと、未来の子供たちの安全のために」って書いて

あったそうです

吉井 そうですか

斉藤 私も署名をさせていただきました。工事が決まって、警備の担当のチーフに任命されて、勝手ながら、運命を感じました。私は桜田市に住んでいます。この近所です。あの日の事故現場を知っています。私はあの日、仕事は休みでした。買い物の帰り、学校の前を通りました。傍（はた）から見れば私もやじうまの一人のように映ったかもしれません。でも、その場を去ることができませんでした。私も小学生の娘がいます。誰か、先生だったと思います。大声で、子供さんに呼び掛けていて。その子供さんの名前を。何度も、何度も。その叫びが遠くからでも聞こえました。その声は今でも耳に残っています

深山 はい

斉藤 ですから、工事が始まる前に、これも勝手なんですけど、先生方にお会いしたくて、先生方のお顔を拝見したくて

深山 はい

斉藤 いろんな人の思いを感じました。でも、私なりに、子供たちの安全に全力を尽くしたいと思っています

坂口、立ち上がる。

坂口 ありがとうございます（礼をする）

中野 あのですね

近藤 何？中野ちゃん

中野 署名活動。緑ヶ丘地区は、稲垣商店の奥さんが中心にされてたみたいですよ

近藤 そうなの？あの人？

中野 伊藤さんから聞きました。伊藤さんも署名したそうです

坂口 伊藤さんも

深山 中野さん、手話、使えるんですか？

中野 覚えました。日常会話程度ですけど

坂口、ジャージのポケットから一枚のプリントを出す。

坂口 これや

斉藤 え？

坂口 うちの学校の時間割表です。

坂口、斉藤にプリントを渡す。

坂口 児童の、曜日ごとの登校時間と下校時間を明記しています

斉藤、プリントを見て。

斉藤 ありがとうございます。会社で共有させていただきました。参考にシフトを組ませていただきます。警備のスケジュールが決まりましたら、すぐにお知らせします。今後ともよろしくおねがいします

坂口 こちらこそよろしくお願います

斉藤、立ち上がる。

斉藤 今日はありがとうございました

斉藤、ドアの方へ。

中野 斉藤さん

斉藤 はい

中野 一緒に行きます

斉藤 おかまいなく

中野 正門は、時間が来たら自動的に閉まるようになってるんです。防犯で、裏門にご案内します

斉藤 ありがとうございます

中野、行こうとする。

坂口 中野ちゃん

中野 なんですか？

坂口 いや、なんでもない

中野 なんですか？

近藤 いいからいいから（「行って行って」という仕草）

斉藤、先生たちに礼をして、去る。中野、後に続く。

坂口 世の中、捨てたもんやないわ

坂口はつぶやいてみた。

坂口（吉井に）ごめんな、引き留めて

吉井 ありがとうございます

坂口 え？

吉井 お母さんの様子を少しでも聞くことができました

吉井、先生たちの方に向き直って。

吉井 ちよっといいですか？私、先生方に聞いてもらいたいことがあって
坂口 何？
近藤 いいですよ

吉井はゆっくりと言葉にする。

吉井 私、今の6年生を卒業させたら
深山 はい

吉井 休もうと思ってます

坂口 え？

吉井 復帰は、何年かかるかわからないですけど。復帰できるかどうかも

坂口

吉井 足は治ったんですが、自分の身体（からだ）が、こんなに傷ついてたんやって、気づけなくて。でも、だから、卒業式までは

近藤 今からでも休んでいいと思いますよ

吉井 いえ、それは、でも、あの. . . やります。卒業式まではやらせてください。みな

さんにご迷惑をおかけするかもしれ. . .

坂口 ええで。自由で。ゆっくりで。吉井先生が決めたらええことや

やや間。

近藤 吉井先生

吉井 え？

近藤 劇を作る話ですけど

吉井 はい

近藤 創作劇だと言っていました、これを混ぜてみませんか

近藤の手には「モチモチの木」の絵本。吉井に渡す。

近藤 知ってますか

吉井 はい。初任のとき、指導したことがあります

近藤（白衣のポケットからメモ束を出しながら）私の教育の師匠がおりましてね、もう退職しています、若いころ、いろいろ教えてもらったんですよ。師匠のコトバです。（メモを読む）「虚構世界を取り入れること」。えー「虚構世界を取り入れることは、自分たちを変に圧迫せずに本質にたどり着ける手法だ」と、書いてあります

吉井はページをめくる。あるページで手が止まる。

近藤 木に灯（ひ）がともる場面ですね

吉井 教会のようですね

近藤 教会ですか？

吉井 子供の頃、毎週、通ってた

近藤 そうですか

吉井 枝の間から差し込む月の光が、まるで教会のステンドグラスのように見えます

坂口 光やろ

吉井 え？

坂口 切り絵の黒で光が強調されるんやで

吉井、ふいに三人を見つめる。ゆっくり頭を下げる。

坂口 教頭にさっきのこと報告してくるわ

坂口、部屋を出ていった。

深山 吉井先生、僕は

吉井 あの日のこと、後から、いろんな先生から聞きました

深山 え？

吉井 近藤先生は私に付き添ってくれて。杉原君には坂口先生が付き添ってくれて。病院の様子は、しばらくしてから坂口先生から聞きました。現場はあんなに騒がしかったのに、搬送先の病院の院内は妙に静かやったって。長い時間がたって、ご両親と、教頭先生が駆け付けた時に、ご両親の後に、やっと隣室に通されたそうです。「アキト君は隣の部屋にいたんだ」って、坂口先生はびっくりしたって。それまで、静かすぎるほど静かやったから。だから、病院に運ばれた時にはもう・手の施しようがなかったんですね

深山

吉井 深山先生

深山 はい

吉井 先生は職員室で「帰れ」って言うてくれたって

深山 え？

吉井 田代先生から聞きました。私、あの日の職員室の様子も知りたくて

深山

吉井 夜の職員室で、ベテランの先生も、中堅の先生も、管理職も、バラバラに搬送されたそれぞれの病院に出払った後、坂口先生の連絡を田代先生が受けて、それを職員室に残っているみんなに伝えて、それで、みんな動けなくなって、どんどん時間が過ぎて、なんにもすることがなくて、何をしたいのかわからなかったときに、深山先生が「帰れ」って。「明日もあるから、帰れ」って。田代先生、それで、やっと身体が動いたって。他の先生も同じやったって、言うてました

深山

吉井 田代先生がいつかお礼を言いたいそうです

深山 そうですか

吉井 近藤先生

近藤 はいはい

吉井 ありがとうございます

近藤 何？

吉井 私のお母さんが・私の母親が来てくれるまで、傍にいてくれて
近藤 いやいや当たり前だから。そんなことは

やや間。

吉井 帰りますね

近藤 はいはい

吉井 (絵本を手に取り)これ、お借りしていいですか

やや間。吉井、帰ろうとして。

深山 吉井先生

吉井 はい

深山 ……いえ

吉井は深山を見つめる。吉井、去る。しばらくして。

深山 僕はそんなやないですよ

近藤は黙っている。

深山 僕は逃げました。現場にも近づけなくて。病院にも行けなくて

近藤 まだですね

深山 え？

近藤 コトバにするのは、まだです

深山 ……

近藤 知ってます

深山 え？

近藤 心の調子が悪い病気です。いつか忘れてましたよ、机に、薬

深山 ……

近藤 非常時に対応しにくいってことは知ってますから

深山 ……

近藤 いいんじゃないの？

深山 え？

近藤 することあったんだし

深山 ……

近藤、宙を見上げて。

近藤 死に物狂いの役割分担だわ

深山、部屋を見回す。そして、顔を上げる。深山の目には「もちもちの木」が映っているかもしれない。
ドアが開く。戸倉教頭である。

戸倉 あら、まだいた

近藤 ああ。えーっと

戸倉 本校の先生方は仕事熱心ですね

近藤 あの、えーっと、坂口先生と会われましたか？

戸倉 いいえ

近藤 あれ？教頭先生を探しに行ったんですけどね

戸倉 私を？

近藤 ええ

戸倉 私？

近藤 はい

戸倉 ほっておきましょう。戻ってくるわよ

近藤 ええ？

深山 教頭先生

戸倉 なんですよう

深山 さっき、建設会社の人が来てくれて

戸倉 歩道橋でしょ

近藤 知ってたんですか？

戸倉 当たり前です

近藤 あの、どうして？

戸倉 夕方、校長から電話があって、お聞きしました

近藤 そうなんですか

深山 どこに行っってはったんですか？

戸倉 何？

深山 今です

戸倉、手に持ってたコンビニの袋を挙げる。

近藤 コンビニ

戸倉 ジャジャジャジャー

近藤 ベーターベンですね

戸倉は袋から缶ビールを出す。テーブルに置く。

戸倉 ジャジャジャジャーン、ジャジャジャジャーン
近藤 「運命」というわけですか
戸倉 ジャジャジャジャーン、ジャジャジャジャーン

次々と缶ビールが出てくる。

近藤 これはどういう事態ですか
戸倉 買ってしまいました。夜食を物色しに行ったついでに

近藤 はあ

戸倉 呑みましょう

深山 え？

近藤 学校でつてのは、昔はありましたけど、今はまずいんじやありませんかね
戸倉 いいのよ、今晚、泊りなんだから

近藤 はあ、教頭先生はそうなんですけど

戸倉 何？

近藤 いえ

戸倉 何？

近藤 いえいえ

戸倉 今日くらいは大丈夫です。明日からまた、忙しいんだから

近藤 はあ．．．そうですね

戸倉 はい

近藤 坂口先生を呼んできます

戸倉 お願いします

近藤、去る。静けさ。

戸倉 夜の学校ですね

深山 今日は、ほとんどの先生はもう帰りました

戸倉 地震は大丈夫かしら

深山 余震はあれ以来ありませんから

戸倉は窓際へ。

戸倉 明るいですね

深山 え？

戸倉 深山先生はどう見えませんか？

深山は月を見上げる。月をしばらく見つめている。

深山 明日、イノウエ君が学校に来ます

戸倉 イノウエソーシロー君

深山 久しぶりです。明日、精一杯、楽しい日にしたいと思います
戸倉 はい

深山、ノートを開いて仕事を始める。黙々と仕事をしている。

戸倉、深山を見つめている。月の光が強く。

終わり

〈引用文献〉

・「モチモチの木」作 斉藤隆介 絵 滝平二郎（岩崎書店）